

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2022年06月118号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

定期便

check



©2010熊本県くまモン

いつも

ありがとうございます



こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。▼事務所移転から1か月。使い勝手や何やらやと落ち着いてきました。

▼損害保険の代理店には、私たちのように保険販売を専業とする「専業代理店（プロ代理店）と自動車ディーラーや整備工場、不動産業者、旅行代理店等が保険販売を兼ねる「副業代理店」があります。

▼プロ代理店になるためには、基本的にこの損害保険会社の研修生として一定の基準をクリアする必要があります。

▼私はA・I・U保険（現A・I・G）の研修生でしたので、こうしてA・I・Gのビルに移転して代理店主を目指して頑張っている研修生たちと話をすると、あの頃を思い出して初心に帰ることが出来ます。これって大事ですね。

▼ちなみにA・I・Gの代理店研修生制度は、保険業界特有の「まずは縁故知人から…」といった営業などありませんので、個人的に好感を持っています。ご興味ある方はご紹介しますので、お声掛けください。

3月から開催された「くまもと花とみどりの博覧会」。自宅から歩いて行けることもあって、水辺エリアに行ってきました。▼天候バツチリで、豊かな自然を満喫できました。



くまもと花博

生命保険お役立ち一口情報

保険の仕組みは、リスクに備えた助け合いです。私たちは生活しているだけでたくさんのリスクに囲まれています。それを貯蓄だけで対処するには限界があります。

そこで、一人ひとりがお金を出し合って、お金を貯めておきます。いざ、困ったことに直面した人に対してそのお金を渡してあげる。保険はこのような運営されています。一人でお金を貯めるのは大変なので、皆でお金を出し合って、困った人を助けることが保険の基本です。

保険料を払ったからといって自分の財産にはなりません。あくまでもリスクに備える、これが保険の基本的な考え方。保険料を払うことで保険会社にリスクを引き受けてもらいます。

保険は払ったお金が返ってくるという制度ではないということを理解しておいてください。



手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。



自由自在に海を遊泳するタツノオトシゴは縄張りを持たない平和的な生き方や、つがいになると一生添い遂げる愛情の深さや、驚きなのが雄が出産・子育てをするというイクメンぶりが、若い女性に大人気なんだとか。

タツノオトシゴは世界的にも縁起もので、その神秘的な姿をできるだけお伝えできるよう描いてみました。

皆さまに家庭円満、子孫繁栄、悪運退散、長寿などのご利益がたくさんありますようお願いいたします。

多様な働き方を制度が後押し 傷病手当や育休を利用しやすく



今年健康保険や育児・介護休業、雇用保険などで制度改正が相次いでいます。会社員らの多様な働き方を支援するのが目的で、家計にも影響しそうです。

傷病手当金は病気やけがで休業している間の所得を保障し、職場復帰を支援する制度。おおよそ給与の3分の2を支給します。昨年までは支給開始日から数えて1年6か月を超えない期間でしたが、1月からは出勤などに伴い不支給となった期間がある場合、その分を延長し、通算で1年6か月支給されるようになりました。がんなどで治療をしながら働く人にとっては治療のスケジュールに合わせて柔軟に利用できるようになります。



育休や介護休業の取得を促す育児・介護休業法でも、4月には有期雇用者の同一事業主に1年以上継続雇用という要件を撤廃し、正社員と同様の扱いになりました。

また同法では男性の育休取得が課題ですが、10月から導入される「産後パパ育休」と呼ぶ男性用の育休制度では、子の出生後8週間以内に4週間まで取得することができるようになります。2回に分けて休んだり、労使協定があれば本人の希望で休業中に就業したりといった柔軟な対応も可能です。

国は25年度に男性の育休取得率30%を目標にしていますので、法改正で利用を促していくようです。

今月は、熊本市東区画図町所島にある株式会社ジェイ・エム・シーの嶋村幸徳社長にお話を伺ってきました。

——事業内容をお聞かせください。

菌床を販売してその栽培指導と、きくらげ(白と黒)、ゆきたけ、あわび茸などを栽培・販売しています。なかでも鹿角霊芝(ろっかくれいし)は全国にご愛用者がいらっやいます。

——いつ頃から事業を始められたのですか？

45歳で脱サラして今年で73歳になるから28年前になるかな。きっかけは、一つの菌床で色々なキノコが栽培できるというのが魅力だったことです。



お兄さんと嶋村社長

——昨年は脳溢血で大変だったそうですが。

事務所でパソコンを操作しようとしても何しろ右腕が動かんとたい、兄

貴もこれは様子がおかしかと感じて救急車で済生会に運ばれました。診断はおそらく半身不随か寝たきりだろうということで、これは困ったなど。

——今の社長からは想像

できませんね。入院2週間後にやっと車いすで、右手は全然動かん状態だったけど、ずっと鹿角霊芝ば飲みよったら4か月後の退院の時は全快になった。鹿角霊芝様様たいね。

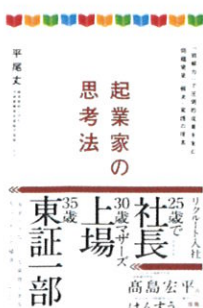
——すごい！ところで今後の事業展開は？

愛用者の方々からはとにかく長く続けて欲しいとの要望が多くあるので、できるところまでやろうとは思っている。ただ後継者もおらんので、兄貴と相談しながら将来的には事業売却も考えてはいるところ。

「くちが少しまめらんしな」と言われてましたが、そんな大病を患ったとは見えません。鹿角霊芝にご興味ある方は、TEL096-379-5150までどうぞ。

お客様
インタビュー

起業家の思考法



失敗への感度を磨くうえで有効なのが「3か月前に戻れたらどうするか」と自問自答すること。成功しているときこそ失敗を探るのが大切で、成功しているように見えることでも、実は失敗なのかもしれないと考える姿勢こそが成長につながるというのが平尾社長の考え方です。

著者は、検索サイトの運営を手掛ける「じげん」の平尾丈社長。30歳で東証マザーズ、35歳で東証一部上場を実現した起業家です。

平尾社長は事業を立ち上げる際、成功と同じくらい失敗についてのイメージも膨らませるといいます。

具体的に失敗したときにどの程度の影響があるのか、どうすれば回復できるのかを手当たり次第に挙げておくことで、徐々にあらゆる面をカバーできるようになるそうです。

乱読コーナー